



令和4年
6月
新聞委員長

りんどう祭

一般公開へ

今年の第68回りりんどう祭は一般公開をする方針であることが、りんどう祭執行部への取材で明らかになった。

りんどう祭は6月17日(金)、18日(土)、19日(日)の3日間で行われ、一般公開は18日の12:00~16:30に行う。

また、19日に行われる「りんどうの歌声」は保護者のみの限定公開を行うそうだ。

一般公開ではダンス部や軽音楽部などの文化部の発表・展示、龍の公開、グラウンドでの企画、コスプレコンテストや部活対抗、飲食販売などが行われる。飲食販売は感染症対策の点から手を加えた食品を売ることができないため、既製品や手を触れずに作ることでできる食品を販売予定だ。

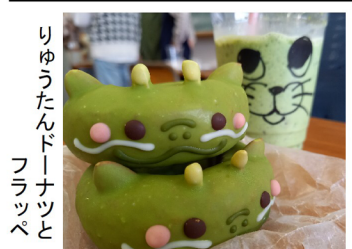
定だ。喫茶係は須坂市のスイーツマーケットカフェさんと1から考えたりんどう祭限定のオリジナルスイーツである「りゅうたんドーナツ」を販売予定だ。

力や伝統を広めたいという思いがあったため、公開できるのならばぜひしたいと祭執行部内で決意し、限定公開だった予定を一般公開を含めたものにするという決断をしたそう

また、今年の龍は全校生徒一人ひとりが鱗にメッセージを書いて貼る。龍執行でなくても龍に関わることができ、例年より皆さんの思い入れが強い龍になるのではないだろうか。

3年ぶりとなり、全学年が初めての経験となる一般公開。コロナ前に戻りつつある今、他校の友達や卒業した先輩、家族を誘ってりんどう祭を楽しんでみてはどうだろうか。

当初、保護者のみの限定公開で計画を進めていたそう。そこに祭担当顧問の先生方から「一般公開を視野に入れた計画に転換しないか」と提案があった。もとより須坂高校の魅



りゅうたんドーナツとフラッグ

四六時中、「おはようございます」!?

先日の生徒総会で「須坂高校の挨拶はなぜ『おはようございます』なのか」という意見が出た。今まで私なりに調べてきたことを紹介しようと思う。

そもそも「おはようございます」という挨拶は歌舞伎の世界から広がったと言われてい

る。ここから、芸能界や飲食業界に広がり、「おはようございます」が定着した。芸能界で使われている「おはようございます」は1日

の中で始めて会う人に使われる言葉だそう。須坂高校は芸能や飲食系の学校でもないのに、なぜこの挨拶が定着しているのだろうか。

3月26日、龍胆学舎で行われた須坂高校の同窓生が集まる定例会議に参加し、「皆さんが高校生の時は『おはようございます』という挨拶であったか」「なぜ挨拶は『おはようございます』なのか」等、挨拶に関わることを質

問させていただいた。卒業された年が早い順に紹介する。

19回生と22回生の方(1943~1946年卒)は「応援練習で『おはようございます』

と言えと言われた」とおっしゃった。応援練習とは、当時の須坂高校には応援団というものがあ

り、その応援団(上級生)が主導で、生徒(下級生)に応援歌などを覚えさせるために

行ったものだろう。当時で言えば右翼的で、竹刀を持った先輩もいたよ

うで、今では考えられない様子だったそう。このお二人の発言から、戦後あたりで、応援団から挨拶の形を指導されたようだ。30回生(1954年卒)の方は「応援練習はあったけど、『おはようございます』の指導はなかった」とおっしゃった。約10年の間で、応援団による挨拶の指導はなくなったよう

だ。42回生の方(1966年卒)と43回生である本校の塩野入先生(1967年卒)は「1日の中でその人と会うのが1回目するとき、つまりその人と1番最初に会うときは『おはようございます』。帰るときは『おやすみなさい』という挨拶だった」とおっしゃった。この発言から当時使われていた「おはようございます」が上記のような芸能界で使われている意味に近いことがわかった。また、新たに、帰るときは「おやすみなさい」と言っていたことも明らかになった。「おやすみなさい」の挨拶は現在の生徒の間では定着していない(と私は思っている)が、時々先生から言われることがあるので、あまり「おやすみなさい」に違和感を感じなかった。

今回の同窓生の皆さんへの質問で「おはようございます」の起源は応援練習であることが分かった。しかし、なぜこの挨拶をさせようと思ったのか、なぜ応援練習での挨拶指導は途切れてしまったのか、なぜ「おやすみなさい」が定着して、今は定着していないのか。謎は深まるばかりだ。

おはようございます

おはようございます。今年度初めての発行となる須坂高校新聞です。

昨年の10月から月に1回のペースで発行していましたが今年度からは2か月の間に1回

く発行していこうと思います。また、生徒総会で出た「資料はタブレットで配信した方が紙のコスト削減になっ

て良いのではないか」という意見と、写真をカラーでお届けできるという点を踏まえ、今年度からこのように

イロノートで全校の皆さんに新聞を配信する形を取ることにしました。オクレンジャーでの配信と須坂高校ホームページへの掲載もする予定です。

これからも須坂高校新聞をよろしく願います!